



やとりきっ子

学び続ける学校 あたたかな学校 潤いのある学校

学校教育目標

- 「自ら学び 心豊かに たくましく生きる子」
- やさしい子 ○努力をする子
 - 理想を求める子 ○きまりを守る子

秋の深まりを感じて… — 校外学習や宿泊学習の取り組み —

木々の紅葉も少しずつ色づいてきましたが、朝夕はすっかり寒くなってきました。本校では学校内での学習はもちろんですが、地域や郷土の学習素材を活かし、校外学習等が盛んに行われています。

1, 2年生は、晴天に恵まれた10月21日(金)、西平畑公園に出かけ、ふるさと電車や秋の自然を堪能して来ました。「この木の葉、昨日公園で見つけたんだよ」と紙袋いっぱい的大小様々な落ち葉を見せてくれました。落ち葉を使って、どんな作品ができるのか楽しみです。



3年生は、年度初めから荒茶加工場をはじめ、様々なところに出かけているのですが、先日は寄地区内の布団工場に出かけて、フワフワの真綿とシステム化された工場設備に感動しました。工場長をはじめ社員の皆様の丁寧な説明を受け、普段目にするのでできない製造過程を知ることができました。後日改めてご挨拶したところ、「寄っ子は、とても人懐っこく、朝夕声をかけてくれるんです」と話していただきました。地域の方々に溶け込んでいる、寄っ子を誉められ嬉しかったです。



1, 2年



3年



4, 5年

4, 5年生は、10月12日(水)～13日(木)宿泊学習に出かけました。ふれあいの村では、キーホルダー作りや火おこし、カレーライス作りに取り組みました。4人ずつの2グループに分かれた活動では火おこしも完璧で、カレーライス作りも素晴らしい出来上がり、満面の笑みで味わっていました。次のキャンプファイヤーも盛り上がり良い思い出になりました。

6年生は、自分たちの住む寄地区の素朴な疑問や謎を調べる「寄の謎を追え！」に取り組んでいます。「なぜ、寄に村を作ったのか?」「古道を守る会の方々は、新しい道があるのになぜ古道を守るのかな?」等の疑問を見つけ出し、その答えのヒントを本校の開学の地、福昌院の住職さんに伺いました。1つひとつ丁寧に説明していただき、新たな発見と驚きがたくさんあったようです。ありがとうございました。



4, 5年



4, 5年



6年

校長先生、見つけたよ！ — 1, 2年の生活科より —

1, 2の生活科では、野菜作りに挑戦しています。夏は、キュウリやナス、トマト等、そして今は、秋冬のダイコンや白菜、キャベツ、ラディシュ等です。地域協力者にも特別指導を受けながら、担任とともに楽しんで取り組んでいます。



先日、「校長先生、見つけたよ！メンガタスズメだよ」と1年生がナスの枝につかまっている蛾(ガ)の幼虫を見つけました。理科の専科教諭によると、「成虫は羽ばたくと、9~12cmにもなる蛾で、ある都道府県では絶滅危惧種に指定されている」そうです。様々な動植物の生態に触れ成長している1, 2年生。もしかしたら、寄地区の自然と未来を守ってくれる素敵なリーダーになるのではないのでしょうか。

本物の感動を肌で感じる大切さ — 演劇倶楽部「座」の芸術鑑賞会 —

9月27日(火)、芸術鑑賞会を実施しました。文化庁の「文化芸術による子供育成推進事業」に当選し実現したもので、演劇倶楽部「座」の皆様にお越しいただきました。前日午後から、20名強の演技者、スタッフが準備を進め、当日は3つの演目「ある島のきつね」「泣いた赤鬼」「りゅうの目のなみだ」が公開されました。演技やセリフなど耳や目に届く情報以上に身体や心に響く感動が、子どもたち一人ひとりに伝わったと思います。和の楽器演奏や工夫された脚本・構成で楽しくも趣のある時間が過ごせました。



世界に一つだけの「わたしの陶芸作品」 — 陶芸教室の取り組み —

10月6日(木)、学校評議員でもある芸術家の齋藤泉先生をお招きして、全校児童が「手びねり」の手法で陶芸に挑戦しました。マグカップやスープ皿、花瓶など思い思いの作品が仕上がりました。学校公開日に展示しますのでご覧ください。



神奈川新聞「わたしたちの学校 寄小学校編」

先週10月19日(水)の神奈川新聞の朝刊に松田小学校が特集され、木造3階建の新校舎や学校の取り組みや特色が紹介されました。この神奈川新聞の特集シリーズ「わたしたちの学校」のラストを飾るのは「寄小学校」です。本校は、11月24日(木)朝刊に掲載が予定されています。是非ご覧いただければ幸いです。



答え

前号で「ヘンな生き物」として、「ホトトギス」を紹介しましたが、ホトトギスは自分の卵をほかの鳥の巣に産み、温めてもらい孵化します。ちょっと変ですよ。